

県民の友

11

昭和43年/367号

発行/和歌山県知事室広報課
和歌山市小松原通り1丁目1番地

11月15日は
「愛の日」

「いま、しあわせな生活を楽しんでいる人でも、いつ不幸にならないとも限らない。『きょうは人の身、あすはわが身』、おたがいにわがこととして、めぐまれない人たちのことを考えていこう」

大橋知事は、ことあるごとに、こうした、大橋知事の願いから生まれたのが、ことしから、毎年十一月十五日にきまつた『愛の日』なのです。

和歌山県が、全国にさきがけて制定した、めぐまれない人たちのしあわせづくりの日です。



毎月1回散髪奉仕…つくし会の若者と後援会の奥さんたち(和市立乳児院で)

めぐまれない人たちに愛の手を

✿「愛の日」を中心には

各地で心あたたまる催し

十一月十五日の「愛の日」を中心に、前後約二週間、県下市町村で、いろいろな催しを計画しています。(詳細は、市町村役場へ)

そして、これによつてえた収益を、すべてめぐまれない人たちにプレゼントすることになつています。(詳細は、市町村役場へ)
○愛の募金運動 ○各種きよ出物品展示即売会
○福祉施設への奉仕グループの結成と活動 ○奉仕グループ座談会 ○芸能人にによるチャリティショウ ○商店街で「愛の日」大売り出しをおこない利益金を寄付 ○在宅重症心身障害児ねたきり老人の慰問と奉仕 ○小学生から「愛の日」ボスター募集 ○老人健康、育児、生活など、各種相談 ○映画会・講演会 ○日赤奉仕団大会など。

✿みんなで参加しよう

あなたの善意を生かすためにどんなささやかなことでも結構です。あなたのまわりでおこなわれる、この「愛の日」行事に、ご参加ください。
そうすることが、めぐまれない人に愛の手をさしのべていただくことになるのです。みなさんのご協力をお願いします。

ご苦労さま「愛の訪問員」

在宅重症心身障害児をお持ちの家庭を訪問して、重症児の療育、読書、話し相手をしたり、家事のお手伝いをする「愛の訪問員」が活動をはじめました。県内に三十八人、次の方々です。

▽和歌山市 池尻勝美 米田美保子 山田友子 富松鴻 三木豊子 小野泰代 浜田定一 中西忠 東てる 水野一江 広田清 高浜田道子 ▽海南市 谷上計一 ▽橋本市 岡本美代子 国枝ヒロ 竹中篤美 ▽田辺市 坂口美代子 戸脇正井上イヨ 橋本和子 ▽那賀郡 堀恵美山田智恵子 ▽伊都郡 横田光志 北村武久 ▽日高郡 玉置孝子 荒堀とみ子 中野桂子 有本美佐枝 ▽西牟婁郡 加村ハナエ ▽奈良県 辻本明子
愛の訪問員の来訪をご希望の家庭は、もよりの県事務所民生課、福祉事務所、または、社会福祉協議会へ。

○・愛の訪問員募集・○

県社会福祉協議会では、愛の訪問員として参加協力くださる方をお待ちしています。ご協力を願える方は、前記のところへお申込みください。

★新県民運動★

きれいにしよう
親切にしよう
たくましく鍛えよう
むだをなくそう

●道路や公園などは私たちのものです。
自分の家のまわりのようにきれいにしましょう。

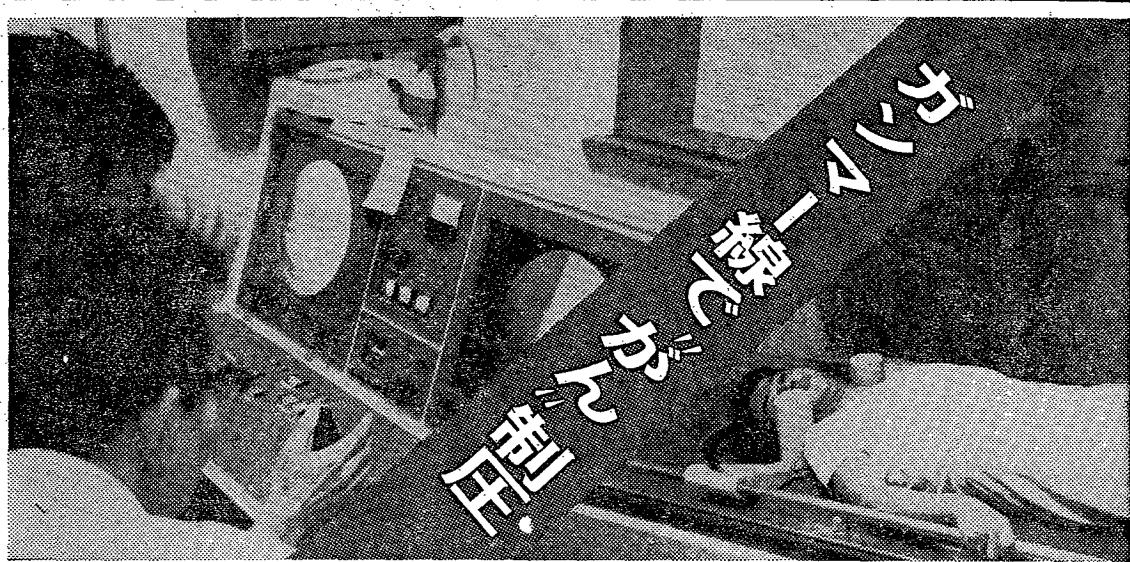


第26回 昭和46年
和歌山国体
和歌山国体はこうして…
●躍進する新しい和歌山と、歴史と自然美の観光
和歌山を広く紹介します。

広報ガイド

★紀州アルバム
毎週土曜日
毎日テレビ/11:30~45
四国テレビ/17:30~45
<11月2日 9日>
生活改良普及員
<11月16日 23日>
知事と語る一農業二世一
<11月30日 12月7日>
県民文化祭ひらく

★広報アワー
和歌山放送12:30~12:35
県政の動きやお知らせ(月~金)
県政マイクスケッチ(土)
★県政映画
紀州アルバム放映フィルムや
県政映画(和歌山をひらく)
カラー16分(いずれも16mmフィルム)を貸し出しています。
県事務所・県広報課まで



ガン退治に新戦力

県立医大にコバルト60

「がん」はこわい。「がん」にかかったら、もう助からない、といわれている「がん」。成人病のなかでも、最も恐れられている「がん」。

しかし、この「がん」もいまでは不治の病いでなくなりました。

そして成人病検診車の「希望号」も、県下各地を巡回し、がんの早期発見に偉力を發揮しています。

一日～六日「明るく清くたくましく」福井国体秋季大会開かれる。ジープ「みんなの消費生活展」みたり、きいたり、所長となつて、県民の天皇杯獲得。和歌山県もがんばろう。

十日「父の分まで長生きがんばろう。」

十一日～二十一日「にぎり選手に頼らず、福井県は天皇杯獲得。和歌山県もためたり、買物じょうずのコツを知ろうと、和歌山ステーションデパートの会

感動的拍手。母子家庭の代表ら約八百人が参加。として、和歌山市民会館で、「合同行政相談所」を開設。大橋知事夫人も「一日家回顧展」開幕。所長となつて、県民の訴えや悩みに耳を傾ける。

十五日～十七日「県下の繊維産業の発展ぶりを一日で、県下の精銳六千人が

して：」美里町の椎山君の体験発表「母の姿」さらに

でいっぱい。

十五日「県、市、行政監察局、労基局がタイアップして、和歌山市民会館で、「写真展・わかやまけん振興展」を開催。

二十三日「県民文化祭参

加「写真展・わかやまけん振興展」開幕。

二十六日～二十七日「県

民体育大会、紀三井寺競技場で、県下の精銳六千人が

見に来ています。

二十六日～二十七日「県

民体育大会、紀三井寺競技場で、県下の精銳六千人が

見に来ています。

二十六日～二十七日「県

民体育大会、紀三井寺競技場で、県下の精銘六千人が

見に来ています。

二十六日～二十七日「県

